

10. 2018年度日本数学会賞建部賢弘 賞の授賞について

第23回にあたる本賞の2018年度授賞者の推薦募集は、会報167号で行いました（「数学通信」第22巻第3号）。受賞者と業績は次の通りです。（五十音順，敬称略，所属は受賞時点のものです）

特別賞

Johannes Jaerisch（島根大総合理工 講師）：

エルゴード理論の研究およびその様々な分野への応用

藤嶋陽平（静岡大学術院工学領域 准教授）：

半線形熱方程式の解の爆発集合に関する研究

前田昌也（千葉大理 准教授）：非線形シュレ

ディンガー方程式に対するソリトン解の漸近安定性

渡邊究（埼玉大理工 助教）：ネフ接束をもつ

ファノ多様体に関するカンパナ・ペターネル予想の研究

奨励賞

跡部発（東大数理 学振PD）：保型表現及び
テータ対応についての研究

大森源城（埼玉大理工 産学官連携研究員）：

曲面の写像類群とその部分群の群構造

小池貴之（大阪市大理 特任講師）：複素部分

多様体近傍の函数論的研究とその幾何学への応用

高橋仁（東工大情報理工 助教）：放物型方程式における動的特異点の解析

中島秀太（京大理 博士後期課程）：最速浸透問題の研究

中村勇哉（東大数理 助教）：極小対数的食

い違い係数と有限体上の極小モデル理論の研究